

令和5年度 調布市立第三中学校 学校経営計画（学校長 宇田川 裕美）

学校の教育目標	
1 自ら学び考え、向上しようとする人 2 自他を思いやる、心豊かな人 3 心身を鍛え、たくましく生きる人（重点目標）	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
<目指す学校像> 1 学ぶ楽しさを実感し、将来の自己実現に向けて互いに高め合える学校 2 生徒一人一人の個性を尊重し、高い人権感覚をもち、自他ともに大切にできる学校 3 保護者・地域とともに子どもを育て、困難や障害を克服する力を育める学校	
ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	予測困難で、不安定な国際状況に生きることになる生徒たちに、自ら考え、情報を精選し、判断し困難を乗り越える力が必要な時代であることから、以下の力を育てていく必要がある。 ・社会のグローバル化や変化に対応できるためのスキルを身につけ、自らのキャリアを構築できる力を育てる。 ・命の大切さを知り、多様な価値観を認められる心を育て、良好なコミュニケーション力を育てる。 ・失敗や困難を乗り越え、社会を生き抜く力を育てる。
中期的な経営目標	
① 全教育活動を通して、自他の生命や人格を尊重し、お互いの違いを容認できる人権意識を身に付けた人間性豊かな生徒の育成を図るとともに、計画的な学級経営の中で、いじめや不登校を生まない集団作りを目指す。 ② 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、学習環境の整備やICT教育を充実させ、生徒が自ら学ぶ力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。 ③ 保健体育や保健指導、学校行事等を通して、食に関する意識や体力の向上、心身の健康に対する意識啓発を図る。 ④ 自立・自律できる健全な生徒の育成を目指すとともに、話し合い活動を重視し、学級活動や教科との連携や生徒会活動との連携を図り、自分の考えを表現できる主体的な生徒を育成する。 ⑤ 校内委員会を中心として教育相談の充実を図り、一人一人の生徒に寄り添う指導や、個に応じた適切な支援の実施など、組織的な対応を推進する。 ⑥ 教育活動全体を通じて、夢をもち「生き方」の視野を広め主体的に進路を切り開く力を育てるとともに、向上心をもち、粘り強く努力し、困難を乗り越える強い意志を育てることを重視したキャリア教育を行う。 人・組 教職員間の連携を密にし、OJTを活用した人材育成と組織的な指導体制を確立する。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）
①全学級において、二者面談及び三者面談の実施。1年生対象のSCとの面談の実施。いのかの授業の実施。	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた年3回の授業研究の実施。	①達成感や充実感のある学校行事（運動会や合唱コンクールなど）の実施。
②いじめや不登校を生まない集団作りに向けた学級経営。	②ICT機器を活用した工夫した授業の実施。	②保健体育の授業や昼休みの校庭開放、部活動の加入による体力向上。
(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）
① 「先生は悩みや相談を聞いてくれる」（生徒アンケート）肯定的評価85%以上。	①授業アンケートの関連項目において、肯定的評価80%以上。	①「学校行事は楽しく充実している」（生徒アンケート）の肯定的評価90%以上。
②「先生はいじめのない学級づくりに努力している」（保護者アンケート）の肯定的評価90%以上。	②授業アンケートの関連項目において、肯定的評価70%以上。	②生徒アンケートの関連項目において、肯定的評価80%以上。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 特別活動の充実	5 組織的な教育相談	6 キャリア教育の推進
(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）
①生徒会や部長会による生徒の自主的な活動の実施。	①特別支援教育及び教育相談に関する理解を深めるための校内研修の実施。	①教育活動全体を通して、キャリア教育を意識した指導の実施。
②自分の考えの構築や探究心の育成に向けた朝読書の実施。	②教育相談的な指導の組織的な対応の推進。定期的な校内委員会の実施。	②エナジードを活用した授業の実施。
(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）
①「生徒会活動に積極的に取り組んでいる」（生徒アンケート）の肯定的回答80%以上。	①学校評価アンケートの関連項目において肯定的評価80%以上。	①学校評価アンケートの関連項目において肯定的評価80%以上。
②生徒アンケートの関連項目において肯定的回答70%以上。	②学校評価アンケートの関連項目において肯定的評価80%以上。	②生徒アンケートの関連項目において、肯定的評価80%以上。

人材育成・組織運営
・主幹教諭を主任とした経営支援部を設置し、副校長の指導の下で学校運営に携わらせることで、主幹教諭の育成を行う。 ・主任教諭選考を積極的に受験させ、主体的に学校運営の意識を育て、将来の管理職を育成する。 ・教育相談委員会として、独立した組織とすることで、学校全体で組織的な教育相談体制を構築し、生徒理解についてリーダーとなる教員を育成する。